



PRESS RELEASE

2023年4月25日 株式会社AOKI

AOKI・ORIHICA約600店舗が回収拠点へ! "OKAERI エコ プロジェクト"を全店舗で開始!

~"すてない"が地球のために。新しい取り組みをはじめてみませんか~

株式会社AOKI(代表取締役社長:森裕隆)は、ファッションロス(廃棄される衣類)の削減に向け、不要な衣類を店頭で回収する活動を"OKAERI(おかえり) エコ プロジェクト"とし、全国のAOKI・ORIHICA約600店舗にてその取り組みを強化いたします。(https://www.aoki-style.com/feature/trade-in/)



■ファッションロスの削減に向けて

AOKIでは、ファッションに携わる企業として、「限りある資源を大切に、有効に使うこと」を使命とし、着用しなくなったウール製品(スーツ)を店頭で回収しリサイクル製品に再生する、日本初の『AOKIウール・エコ・サイクル®』プロジェクトを、1996年より東亜紡織株式会社とスタートさせました。その後、2022年10月より、伊藤忠商事株式会社と株式会社ECOMMITが運営する『Wear to Fashion』へ参画。中京の一部店舗にて、ポリエステル製品の回収にも力を入れてまいりました。そしてこの度、ファッションロスのさらなる削減と資源の有効活用を目指し、株式会社JEPLANが運営する『BRING』とも提携いたします。両社との提携により、従来のウール製品に加え、ポリエステル製品の回収が、AOKI・ORIHICA全国約600店舗にて可能となります。

※ORIHICAでの回収は期間限定です。詳細はHP(https://www.orihica.com/tradein/) をご確認ください。

そして、お客様と一体となり「ファッションロスの削減・資源の有効活用」に取り組んでいきたいと考え、本取り組みを "OKAERI(おかえり) エコ プロジェクト"と名付け、その活動を促進してまいります。

今後もAOKIでは、回収窓口としての役割を担うことで、 お客様とともにサステナブル社会の実現に力を尽くしてまい ります。

■プロジェクト名・ロゴマークに込めた想い

不要になった服を持ち込む=服が再び店舗に戻ってくる 様子から、「OKAERI(おかえり)」と命名いたしました。また、 着用しなくなった衣類も「大切な資源」であることを、服を包 み込む両手で表現。「衣類回収活動」の大切さを訴求して まいります。

株式会社AOKIの「衣類回収」について

■株式会社AOKIの衣類回収の実績



株式会社AOKIでは、1996年より『AO KI ウール・エコ・サイクル®』プロジェクトによるウール製品の回収を開始。これまで毎年平均20万着を回収し、リサイクル活動に注力してまいりました。

そして、新たに『Wear to Fashion』、 『BRING』に参画。今まで以上に回収量 を増やし、再資源化につなげることで、サ ステナブル社会の実現に力を尽くしてま いります。



■『AOKI ウール・エコ・サイクル®』とは

『AOKI ウール・エコ・サイクル®』プロジェクトとは、1996年に株式会社AOKIと東亜紡織株式会社によりスタートした日本初の取り組みです。ファッションに携わる企業として、「限りある資源を大切に、有効に使うこと」を使命とし、着用しなくなったウール製品(スーツ)を店頭で回収し、リサイクル製品へ再生するためにスタートいたしました。

https://www.toabo.co.jp/environment/



■『Wear to Fashion』とは

『Wear to Fashion』は、お客様から不要な衣類を集め、リユースやリサイクルへ繋げる取り組みです。「捨てない」選択肢の1つとして、本活動に衣類を提供し、企業が責任を持って再利用や再資源化を図ります。

http://renu-project.com/wear-to-fashion/



■[BRING]とは

『BRING』は、毎日の生活と自然の中で生き延びるための服をつくります。そして、その生活を続けていくために、様々なブランドと一緒に使わなくなった服の回収を行い、自社工場の独自の技術で服の原料に再生し、再び服にまで何度も循環させるサーキュラーエコノミーを社会に実装しているブランドです。

https://bring.org/

■報道関係からのお問い合わせ

株式会社AOKI 本社 広報担当: 飽田・比本・矢島 〒224-8688 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6-56

TEL:045-941-3588/ FAX: 045-942-1608 Mail:aokipr@aoki-style.com